



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田 元 照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第 162 号

平成31年
3月18日
発行

永年勤続者表彰式 新年交礼会

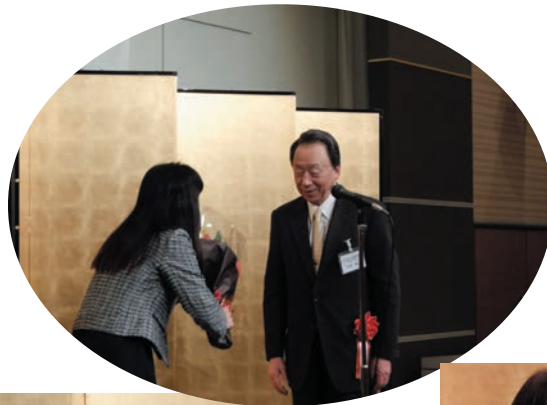
平成31年1月22日(月)ホテル札幌ガーデンパレスで永年勤続者表彰及び新年交礼会が開催されました。前田元照札私幼会長の挨拶の後、永年勤続者表彰式が行われ今年度は30年勤続者2名、20年勤続者20名、10年勤続者50名が表彰され、表彰者を代表して桑園幼稚園園長飯田かおり先生よりご挨拶がありました。引き続いて行われた新年交礼会では北海道知事高橋はるみ様、札幌市長秋元克広様よりご祝辞を頂き衆議院議員船橋利実様の祝杯の御発声で祝宴が始まりました。

その後各テーブルでの歓談が始まり受賞された先生の中には実習園の園長先生を見つけて懐かしくお話する様子が見られました。ご来賓の皆様にはテーブルスピーチをお願いし衆議院議員和田義明様、道議会議員岩本剛人様、北私幼会長川畠教孝様、私保連会長菊地秀一様にそれぞれお話しを頂きました。

結びの乾杯は道議会議員角谷隆司様が務めとても和やかな雰囲気の中、出席者が互いに親睦を深め楽しい時間を共有しました。



また私達札私幼会員の仲間である真駒内幼稚園理事長・園長石原康之先生が秋の叙勲を受けていたことの報告を兼ね札私幼から花束の贈呈を行い祝福の気持ちを伝えることができ明るいムードが広がる中、無事終了しました。



永年勤続表彰受賞者

勤続30年表彰 (園番号順)

2名



飯田 かおり
(桑園幼稚園)

服部 真奈美
(認定こども園 山王幼稚園)

勤続20年表彰 (園番号順)

20名



- 蝦名 喜代美 (桑園幼稚園)
- 佐藤 淳子 (桑園幼稚園)
- 相原 妙子 (めばえ幼稚園)
- 長沼 俊志 (認定こども園 新琴似幼稚園)
- 廣島 優香 (新川幼稚園)
- 丸藤 彰 (新川幼稚園)
- 岩本 さゆり (百合が原幼稚園)
- 山名 雅子 (札幌大谷大学附属幼稚園)
- 司馬 政一 (幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 内藤 浩司 (幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 杉山 郁代 (札幌あかしや幼稚園)
- 森 しのぶ (幼保連携型認定こども園 おかだまのもり)
- 松本 亜子 (菊水いちい認定こども園)
- 林 菜穂 (菊水いちい認定こども園)
- 矢武 弘子 (幼保連携型認定こども園 ひばりが丘明星幼稚園)
- 織田 由香 (実晴幼稚園)
- 高橋 清香 (真駒内幼稚園)
- 鈴木 真弓 (まこまない明星幼稚園)
- 高橋 みどり (あづま幼稚園)
- 高田 敦子 (前田幼稚園)

◆ 勤続10年表彰 (園番号順)

50名



- 竹下 英二
(札幌山幼幼稚園)
- 大橋 絵梨
(認定こども園 カトリック聖園こどもの家)
- 藪 淳一
(大通幼稚園)
- 戸坂 妥世
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 末 永歩
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 田宮 恭子
(認定こども園 新琴似幼稚園)
- 中出 綾子
(新川幼稚園)
- 細川 紺唯季
(新川幼稚園)
- 三國 靖代
(百合が原幼稚園)
- 大谷 壮史
(あいの里大藤幼稚園)
- 志連 しぐれ
(北栄幼稚園)
- 矢木 亜希子
(北栄幼稚園)
- 白畑 義信
(幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 羽賀 文江
(認定こども園 札幌愛珠)
- 島田 朋子
(天使幼稚園)
- 保住 有美
(幼保連携型認定こども園 さつなえのもり)
- 馬狩 有花
(幼保連携型認定こども園 さつなえのもり)

- 新井田 萌
(あゆみ幼稚園)
- 稲見 麻未
(幼保連携型認定こども園 おかだまのもり)
- 富永 眸
(北都幼稚園)
- 滝 吉絵里佳
(北都幼稚園)
- 高瀬 絵理
(東橋いちい認定こども園)
- 岩本 奈緒
(札幌みづほ幼稚園)
- 梅津 寿乃
(認定こども園 桜台いちい幼稚園・保育園)
- 倉本 千恵子
(認定こども園 桜台いちい幼稚園・保育園)
- 西川 喜美恵
(札幌第一幼稚園)
- 丸谷 奈緒
(札幌ゆたか幼稚園)
- 平野 麻菜美
(札幌ゆたか幼稚園)
- 高橋 麻智子
(札幌白ゆり幼稚園)
- 佐々木 詩乃
(札幌白ゆり幼稚園)
- 小原 由莉
(札幌白ゆり幼稚園)
- 藤田 ひろみ
(札幌白ゆり幼稚園)
- 中山 有紗
(認定こども園 まなび)
- 板垣 杏や菜
(つきさむ幼稚園)

- 吉見 加奈子
(札幌国際大学付属幼稚園)
- 小原里 絵
(光の泉幼稚園)
- 澤里 彩香
(光の泉幼稚園)
- 細川 由紀子
(美しが丘幼稚園)
- 斉藤 洋子
(真駒内幼稚園)
- 鈴木 典章
(真駒内幼稚園)
- 青木 彩華
(まこまない明星幼稚園)
- 角谷 毅
(札幌わかさ幼稚園)
- 船橋 尚美
(インターナショナル山の手幼稚園)
- 酒井 裕子
(インターナショナル山の手幼稚園)
- 土田 実香
(あづま幼稚園)
- 黒壁 幸代
(平和幼稚園)
- 上原 早織
(平和幼稚園)
- 海 銚仁美
(宮ノ丘幼稚園)
- 紳原 貴子
(認定こども園 山王幼稚園)
- 藤澤 千恵
(富丘つくし幼稚園)

平成30年度 代表者会議・札私幼臨時総会

2月18日(月)午後2時15分から、ホテル札幌ガーデンパレスにて平成30年度の代表者会議および札私幼臨時総会が開かれました。

代表者会議は中村副会長の進行の下、前田会長のご挨拶で始まりました。大阪府高槻市からおいでになった全日本私立幼稚園連合会政策委員会委員長の水谷豊三先生を講師に迎え、「近づく幼児教育の無償化！ 札幌市と取り組むべき課題とは？」と題して、1時間半ほどの講演が行われ、講演後は前田会長と水谷先生との対談が30分ほど行われました。

水谷先生から、経済政策をやさしい言葉で解説頂き、無償化スタートや新年度開始を控えて、幼児教育界の質の向上を図るべく、北海道では札幌が先陣を切って力を入れていきましょうとお話で、エールを頂いたような講演でした。

その後休憩をはさみ、午後4時30分過ぎから臨時総会が、敷副会長の「開会の言葉」で始まりました。前田会長の挨拶の後、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長佐々木和也様からご挨拶を頂き、札幌市私立幼稚園振興議員連盟会長の三上洋右様より頂いた祝電が紹介されました(札幌市議会本会議中のため振興議員連盟の皆様はご欠席でした)。

また、太田振興委員長より定定数の確認が行われ、本総会は成立しているとの報告がありました(145園中の103園が出席)。続いて議長に清田幼稚園の了寛園長先生を選出、議事録署名人に中央区桑園幼稚園の飯田園長先生・厚別区ひばりが丘明星幼稚園の相良園長先生が指名され議事に入りました。

議案第1号 平成31年度事業計画(案)について各委員会(総務・振興・研究・広報・認定こども園)の委員長より説明があり、原案どおり承認されました。議案第2号 平成31年度収支予算(案)については坂本事務局長から災害見舞金などを含め増減のある科目等について経過説明があり原案どおり承認されました。議案第3号その他はとくになく、議長はすべての議案が審議終了したことを告げて退任しました。

総会の結びとして丸谷副会長より、新教育要領における「10の姿」を、実践を通して感じる事が大切ではないかということ、質の向上として「チャレンジビジョン」のうち自己評価やECEQなどできることから各園で取り組み、札私幼全体として実施していきたいとの「閉会の言葉」で、平成30年度臨時総会は滞りなく終えました。



平成30年度 第2回 特別支援教育研修会



札幌市私立幼稚園連合会主催の第2回特別支援教育研修会が、平成30年12月17日(月)に、かでの2.7大会議室で行われ、約210名の先生方が参加されました。「昨年度の続きが聞きたい、具体的な子どもたちに対する支援策を中心にお聞きたい」との多数の要望に応えて、昨年に引き続き、講師として明星大学教育学部教育学科教授 保健学博士 星山麻木先生をお招きし、「統、インクルーシブ教育と支援の実践」～通常学級における特別支援教育、支援の在り方～というテーマでご講演いただきました。

35年間、特別支援と療育をしている実践研究者である星山先生が具体的な事例を挙げて分かりやすくお話しして下さいました。

自ら療育センターを運営し、沢山の子どもたち、保護者を支援する中で当事者から聞いた言葉を本にしたものを紹介して下さいました。(YouTube子どもの気持ちシリーズ「ずっとと言えなかったコト」学校に行けない編をご覧ください。)

「そばにいる支援者が、しっかり勉強してちゃんと知っているかどうかで、彼ら彼女らの命を支え、命を輝かせることができるか、追い詰めて苦しめる人生にするかの分かれ道です。皆さんにやって頂きたい特別支援は、魔法のこぼれを沢山かけることです。出来ないことを頑張らせることではありません。普通にすることでもありません。もともと機能が違うので、これ以上頑張らせたら壊れてしまいます。」という言葉が心に響きました。

障がい児が「黒」、診断名はついていないけれど支援が必要な子が「グレー」というネガティブな言葉を使うのではなく、少数派の子どもたちも多数派の子どもたちも皆、素敵な長所を持つ子どもたちなので、「虹色な子どもたち」と表現しているとのことでした。また、通常学級の多数派の子どもたちにも、この授業をしていて、「皆、違う色だよ。皆、違うから助け合って生きて行こうね。」と伝えているとのことでした。

「診断名をつけることが重要なのではなく、支援の方法を大人や周りの子どもが知っていることが皆が幸せになる方法だと思う。」との言葉を聞き、目の前の子ども、保護者に寄り添える保育者になりたいと思いました。少数派の子を仲間外れにするのではなく、思いやりと優しさで合理的配慮が出来る子どもたちを育てる保育の大切さを学びました。

「虹色な子どもたち」の特徴を分かりやすく表現し、どの様に関わると良いかを知ることが出来る人形劇をYouTubeで見せて下さいました。子どもたちもこの人形劇を見ることで、相互理解に繋がっているそうです。

今回、星山先生が研修会で紹介して下さいました動画は、YouTubeで見ることが出来ます。是非、「星山麻木オフィシャルサイト」から「YouTube星と虹色な子どもたち」をご覧ください。



平成30年度 乳幼児研修会

札幌市私立幼稚園連合会主催の乳幼児研修会が、2月28日(木)に札幌エルプラザにて行われました。講師として、ジャーナリストであり子ども安全計画研究所代表理事の猪熊弘子先生をお招きし、「『組織力』と『保育の質』の向上が子どもの<いのち>を守る」というテーマで講演していただきました。

猪熊先生はお話の中で「保育で一番大切なことは、子どもの『いのち』を守ることであり、命を守るとは子ども一人ひとりの存在を大切に、守ることである」と強調されました。幼稚園や認定こども園などでの事故は一人の先生のミスで起こることは基本的になく、組織の在り方に問題があることが大半であり、私達保育者は事故や怪我に日頃から慣れてしまっているが故

に「事故は起こるもの」ではなく「起こさないようにするもの」と、自身の考えを今一度改める必要性を感じました。組織力を向上させるためには、園の見取り図を使って子どもがよく転んだり怪我をしやすと感じる場所に付箋を貼り園内環境を見直す園内研修を提案していただきました。また、「やらせる保育」は非常に怪我が多くなることから「本当の子ども主体の保育とは？」と常に問いながら、時には子どものやりたくないという主体性にも向き合っていくことの大切さを再確認し、「強制・矯正ではなく、“共生”が大切なのでは？」という猪熊先生の言葉がとても心に残りました。

第38回政令指定都市私立幼稚園団体協議会 千葉協議会

2月7日・8日に「政令指定都市私立幼稚園団体協議会・千葉協議会」が三井ガーデンホテル千葉に於いて、政令20都市の代表が参加し開催されました。札幌市私立幼稚園連合会からは、前田会長、藪・丸谷・中村の3副会長と担当理事の前鼻先生、合わせて5人が参加致しました。開会式後の基調講演は、汐見稔幸先生に「質の高い幼児教育と幼児教育の無償化」についてお話をいただきました。

無償化の意味するものは、幼稚園にかかる費用を親から徴収するのではなく、税金で賄うシステム、義務教育に移行する第一歩、つまり公共性が高くなる。幼稚園の教育が社会で果たす役割への公的期待が強くなるということであり、保育の質の向上の必要性について再確認しました。特別講演では、厚生労働省子ども家庭局保育課長・竹林悟史さんに「これからの社会保障制度と子ども・子育て支援新制度」についてお話をいただきました。2日目は、各都市の幼保小連携・接続の取り組みについて、人材確保・処遇改善の策について、幼児教育を推進する取り組みや自治体からの支

援施策について意見交換が成されました。無償化にかかわる各都市の動きや課題、自治体に余剰金が生じた場合の使途についても話題となっておりますが、この点については、現段階では回答できないというところが殆どでした。今後折衝する際の課題として意識を新たに致しました。



札幌市幼稚園初任段階における研修・2年次研修

1年目の滝野宿泊研修から始まり、今年度2年目を迎えた先生達の初任段階研修の締めくくりとなる研修を、平成31年1月11日(金)市立大通高校の講堂とグラウンドで開催。講師に「自然体験指導員・日本シェアリングネイチャー協会公認インストラクター／古川美枝子氏」をお迎えし、140名の先生が参加しての研修会でした。雪を活用した体験活動として講義や協議だけではなく実技も交えての研修に若い先生達の声がグラウンドに響き渡っていました。最後に札幌幼・研究委員長長の芝木孝満先生より「2年間の決められた研修を終え、今後は自ら進んで研修を受けることで学びをより深めてゆくことの大切さ」その言葉を心に刻み2年間の研修を終えました。

2年間の新人研修を終えて

2年間の新人研修で多くのことを経験でき、スキルアップできたと思います。特に新人研修一年次の宿泊研修ではたくさんの事を学びました。他園の先生たちと7～8人でグループになり、話し合いや、レクリエーションを行う中で、相手の話を聞き、自分の考えも伝えながら協力して研修していくことで、相手の立場になって物事を考える等、人に関わる仕事として根本的

に大切な所を改めて見直すことができました。実際に現場で長く勤めている先生や自然を使った遊びなど専門的な知識を持った講師の方々のお話を聞き、実際に体験することで、自分の保育に活かせる部分や自分とは違った観点で物事を見ることができ、保育の視野が広がったと思いました。

これからも積極的に学びの場に参加して、子どもたちの健やかな成長に繋がるより良い保育が実践できるようにしていきたいと思います。

(ときわみなみの幼稚園・山下 誇威)



理論・実践研修 2

2日間 密着取材!

札幌市幼稚園初任段階における研修

2019. 1. 15 (火) 16 (水)

札幌市幼稚園初任段階における研修「理論・実践研修2」が1月15日(火)16日(水)の2日間、ちえりあ講堂にて行われました。1日目は～子どもを取り巻く環境を学ぼう・保育の展開を考えよう!～2日目は～特別支援教育の理解を深めよう!・安全、安心な園生活のための教師の役割を学ぼう～というテーマで午前、午後と研修が行われました。175名の参加でしたが、夏も集まっている仲間たちということで、緊張が解け、笑顔で参加する姿が見られました。充実した、濃い2日間になりました。

1日目!!

午前中は藤女子大学 吾田教授から保護者との連携の話を頂きました。保護者の想いや、入園までの発達のプロセスの話を聞き、所々で、近くの先生と保護者とのかかわりで嬉しかったことや、困ったことを話し合いながら進めました。子どもの発達から論理的に保護者に話していくためにも、教師がしっかりと1人ひとりを理解していくことの大切さを学びました。

午後からは札幌市立もいわ幼稚園 笹山園長から保育の展開について「雪山大作戦」「遊園地を作りたい!」等の実際の事例について写真を映しながら具体的にお話下さいました。

写真の生き生きとした子どもの姿に目を輝かせ先生たちは観ていました。子どもの気づき・発見を取り上げることで、遊びを発展させていくことについて、6人グループになり話し合い、沢山の意見や想いが述べられていました。



2日目!!

午前中は障がいのある幼児への個別の援助について、幼児教育センター 伊藤指導主事からクイズを取り入れ分かりやすくお話を頂きました。その後、各区の幼児教育支援員の方がグループに入り、自身の実践等をもとに1人ひとり発表しながらみんなで討議しました。指導員の先生のアドバイスにも深く頷きながらメモをとっていました。

午後からは、札幌国際大学 蔵満教授から子どもの健康と安全についての話を頂きました。初めに北海道の子どもたちの体力、運動能力の二極化(個人の差)・二局化(単一種目しかできない)が特徴になっていること、遊ぶ仲間・空間・時間の「さんま」が減少しているからこそ、遊びが大切であることを学びました。その後安全についての話を聞き、近くの先生とグループになり幼稚園であった体験談、対策を話し合いました。

閉講式では、幼児教育センター 野切 担当課長・札幌市私立幼稚園連合会 中村 副会長から、学び続ける大切さや、「このような先生になりたい!」という憧れを持ち、研修を生かして保育に打ち込んで欲しいとの話があり、先生たちは真剣な表情で話を聞いていました。

参加した先生の声

1年間たくさんさんの研修に参加しましたが、この初任段階における研修は特に学び多きものになりました。夏は、先輩教員のお話を聞かせて頂き、教員としての心構えを学びました。また、毎日奮闘している指導案についても、年齢別で身体を動かすあそびを実際に経験させていただいたことを基に指導案を書いたことにより、指導案の重要なポイントを分かりやすく学ぶことが出来ました。冬は、障がいのある子への援助の方法、安全な園生活について学ぶことはもちろん、沢山の仲間と意見交換をし、今後の保育に繋がるものを見つけることが出来ました。学生時代の友人とも再会し、悩みを共有することでより頑張ろうという気持ちになりました。来年からは2年目となり、後輩も入ってきます。研修で学んだことを日々の保育に生かし、子どもにとって1番良い保育を考えていきたいです。また、視野を広げながらも初心を忘れずステップアップしていきたいです。

なかのしま幼稚園 田村 麻里奈

だいすき

第3回

マッキーの文房具

丸章工業株式会社

切る

HAI—NEVANON (ハイネバノン)

文具のなかでも私が一番に拘るのが、良く使うペン。そして、仕事の能率、速さが著しく変わってくる、「はさみ」です。

はさみは色々なメーカーから様々なタイプが出ており値段もピンからキリまであります。私が今、愛用しているはさみは、刃物専門メーカーの

「丸章工業株式会社」の Silky というシリーズ ハイネバノンです。紙はもちろん、ビニールも布も本当に良く切れます。ハイネバノンは粘着物が残らないようにミクロン単位のフッ素加工をしているだけでなく、電解加工まで施しているそうです。はさみ専門ブランドの拘りが感じられます。

私は、文具のブログからこのはさみの存在を知りamazon でレビューも読み購入を決めました。毎日、大活躍しています！！



消す

クツワ

Zi—Keshi (磁ケン)

最近、文房具屋さんで面白い消しゴムを発見しました。その名も「磁ケン」！！消しクズが磁石にくっつく驚きの消しゴムです。鉄粉入りの消しゴムなので、消しクズがケースの底に内蔵されているネオジウム磁石にくっつき、消しクズを瞬時に集めることができます（磁石は簡単に取れない仕組みになっている）。ケースに付いた消しクズは、ケースのつまみを押し出すと落ちる仕組みなので、消しクズを触らずに片手で捨てることもできます。床で絵の下書きをした時に拾い集めるのが大変な時もくっつけてとることができ便利！！消し心地も良いです。そして一番は集めるのが楽しいですよ（笑）！赤と青の2色をラインアップしています。



ボールペンや万年筆の試し書きをする時に「永」という文字を書くといいという話を聞きました。「永」には漢字に必要な、とめ・はね・はらいの要素が全部入っているそうです。使ってみて実用性で選ぶのはもちろんですが、可愛い！面白そう！と感性で選ぶ楽しみも文房具にはあると思います。今回は、以前からのお気に入りのもの、拘りのもの、最近見つけて使い始めた面白い！と思ったものを紹介したいと思います。



描く

ZEBRA

紙用マッキー

このペンを知ったのはかれこれ11年前！！マッキーなのに裏写りがしない「紙用」に驚きました。色も豊富で発色が綺麗！！ポスターを書くときや、ボードの絵、パネルシアターの色塗りにも使え愛用しています。乾くと水に流れにくく、耐水性・保存性があります。布やプラスチックにも使えます。しかも、カートリッジがあり、経済的にもお得！！幼稚園に15色入りが各クラスに置いてあり大活躍しています。パールオレンジがあるので、人が描けるのもまた良い所です。セットは15色入りと8色入りがあります。細いタイプもあります！！



平成31年度・札幌市予算（私立幼稚園関係）～特別支援教育事業補助金・基準額拡充～

昨年11月29日の予算要望以降も札私幼執行部は、前田会長を中心に子ども未来局と予算折衝を行ってまいりました。その結果、平成31年度札幌市予算案が発表された中で特別支援教育事業費補助金に関して大幅な拡充がありました。

※特別支援教育事業補助金（一園当たりの基準額）

平成30年度まで → 901,200円

平成31年度予算案 → 953,550円

(52,350円の単価アップ)

時給 819,000円=1,050円/時×4時間×5日/週×39週

交通費 134,550円=690円/日×5日/週×39週

合計 953,550円

※新基準（平成31年度）

要支援児数	教諭数	補助単価
1～4人	1人	953,550円
5～8人	2人	1,907,100円
9～12人	3人	2,860,650円
13～16人	4人	3,814,200円
17人以上	5人	4,767,750円

※私立幼稚園等補助金

特別支援教育・教材教具整備・研修費等の補助金を含む。今回の増加分は特別支援教育に係るもの。

平成31年度予算 → 653,000千円（46,000千円の増）

※平成31年度予算案については、市議会の審議の結果議決されました。

この度の予算要望、予算折衝に関しまして皆様からのご支援ありがとうございました。



連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- 12月3日(月) 研究委員会
- 12月5日(水) 広報委員会
- 12月11日(火) 総務委員会・理事会・養成校懇談会（札幌ガーデンパレス）
- 12月27日(木) 札幌市幼児教育センター打合せ（ちえりあ）
- 1月11日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3（2年次）」（市立札幌大通高校）
- 1月15日(火) 初任段階における研修「理論・実践研修2」（ちえりあ）
- 1月21日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会（札幌ガーデンパレス）
- 1月28日(月) 振興委員会
- 2月4日(月) 研究委員会
- 2月7日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会千葉協議会
- 2月8日(金)
- 2月12日(火) 札幌市子ども未来局打合せ（大通バスセンタービル）
- 2月18日(月) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時総会（札幌ガーデンパレス）
- 2月28日(木) 乳幼児研修会（札幌エルプラザ）
- 3月4日(月) 認定子ども園委員会
- 3月6日(水) 広報委員会

- 3月11日(月) 札幌市幼児教育推進協議会（ちえりあ）

〔平成31年度の主な予定〕

- 5月17日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定時総会（札幌ガーデンパレス）
- 7月5日(金) P連ふれあい交流会（新中央体育館〔北4条東6丁目 北ガスアリーナ札幌46〕）
- 7月11日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会名古屋大会
- 7月11日(木)～12日(金) 就職フェア（札幌ガーデンパレス）
- 9月16日(月・祝) 教育研究大会 公開保育研修・分科会
- 9月27日(金) 教育研究大会 全体会（札幌市民ホール）
- 9月28日(土) 教育研究大会 全体会（札幌市民ホール）
- 10月4日(金) P連50周年記念事業 兼 全道大会（札幌市民ホール）
- 12月10日(火) 総務委員会・理事会・養成校懇談会（札幌ガーデンパレス）
- 1月20日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会（札幌ガーデンパレス）
- 2月6日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会 静岡協議会
- 2月7日(金) 議会
- 3月2日(月) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時総会（札幌ガーデンパレス）



春の訪れが待ち遠しい弥生・3月。園生活は一年の締めくくりの時でもあります。卒園児を送り出す淋しさ・新たな子ども達との出会い、とても複雑な時期でもあります。

今年度は、平成最後の年とよく言われていましたが北海道では忘れられない一年になりました。胆振東部地震そして40年ぶりと言われた大寒波…つい先日も大きな地震があり札幌も地下鉄が全線ストップしたため帰宅困難な状況になるなど、忘れた頃にやって来た地震に、子ども達と園で過ごしている時間に起きたなら…大寒波の中で停電が起きたなら、たくさんの【もしも】を考えると【備えあれば憂

いなし】これを日々の生活の中で実践しなければいけないこと、普段の何気ない生活を当たり前と思ってはいけない…改めて感じました。

【平成】にも終わりを告げ、新たな【元号】が始まると同時に幼児教育の現場では10月から【保育料の無償化】が始まります。様々な面で落ち着くまでには時間がかかりそうですが、目の前の子ども達は日々成長しています。それを止めることなく日々奮闘してゆかなくてはならないそんな風に思います。

今年度も札私幼広報誌の発行に際し沢山のご協力、そして就職フェアも会員園の皆様のご理解とご協力のおかげで無事に終わることが出来ました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

(広報委員長・米永 桃子)